

黒崎地区 社協だより

発行者 黒崎地区社協
 責任者 花田修
 編集者 安達マキ代
 事務局 黒崎市民センター
 ☎ 641-4106



第二十回「総会」開催される

去る五月九日(水)黒崎市民センターで、第二十回総会が開催され左記の事業計画が承認されました。

目標

自分たちの手で明るく安心して住み続けられる町づくりを目指して、住民の活動への参加を促し、支えあいを強め絆を深める。

この目標を達成するため、当社協を構成する四部会の活動計画は左記の通りです。

一 ふれあいネットワーク部会

☆連絡調整会議の活発化を図る
 ☆班会議やサロン活動の活発化を図る

☆関連諸団体との連携強化(市区社協・消防署・市民センター・包括支援センター・保健師・インクル八千代・あいの会・黒崎ジョブチャレンジ・あじさい保育所・福祉松快園他)

☆福祉協力量員の講習会・研修会への参加を促進する

二 健康づくり部会

☆毎週開催の歩こう会の継続化を目指す

☆特別例会の実施

☆ピンシヤン会の活性化(楽しく生きがいにつながるような企画運営を目指す)

☆地域の方々との連携、交流を図る

三 広報部会

☆広報内容の充実化を図り社協だより35号、36号を発行する。

四 環境づくり部会

☆石鹼づくりを継続し、お祭りや地域の活動を通して、積極的にその意義を広める。

☆公園などの空き地を有効利用して、ジャガイモや玉ねぎなどを栽培し、その収穫を利用して近所の幼稚園児保育園児との交流を図る

学童保育クラブの運営

陣山社協と協力して黒崎中央学童保育クラブのより健全な運営を目指す。指導員・保護者会と連携協力し、子供たちがより生き生きと感ずるような雰囲気づくりを手伝い、より感性豊かな子供達の育成の手助けをする。

その他の主要な行事

☆一人暮らし年長者交歓会の開催

☆バス研修

☆一人暮らし年長者への年賀状発送

☆地域との関わり強化

地域の皆様とともに

あじさい保育所所長 姫野 裕子



社会福祉協議会の皆さんには、当所の保育活動を多岐に亘りご支援いただき感謝申し上げます。

四月より所長として赴任し、右も左もわからない私に「先生！今年も一緒にやろう！」と社協の方から気さくに声をかけていただき嬉しく思います。今年度も社協の方にご協力頂き、ケナフの笛作りや保護者向けに廃油を使った石鹼づくりと楽しい計画を実施する運びとなりました。

又、黒崎市民センターで実施しました0歳児の保護者向けの食育教室では、幼児食を作りながら会話が弾みとても好評でした。

誰に相談したらよいのかわからずに、携帯やパソコンで悩みを解決しようとする方達が多くみられます。黒崎地区の皆様から気さくに声を掛けてもらった時に感じた、人と話す楽しさや誰かに共感してもらえる心地良さを感じてほしいと思います。

そのためにも保育所の役割を意識し、職員一同頑張っていきたいと思えます。

沢山の小さな花(笑顔)が集まって大きな花(笑顔)になるあじさいのように、地域の皆様とともに、保育所の子ども達、保護者、職員の笑顔のあじさい保育所となりますように、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

一人暮らし交歓会に参加して

紅梅二丁目 松元 美保子

日頃から近所との付き合い合いが少ない私ですが、この会へのお誘いをいただき、参加するうちに、年に一度初夏の楽しみになってきました。

広い会場での挨拶や来賓の紹介は、高齢者の耳には話の内容が聞き取り難い時間でした。

今回は、これらが省略され交流の時間が増えたのがよかったです。

ボランディアの高校生や可愛い保育園のお子さんに元気をいただき、またプラスチックには、若かりし日々を思い出し、思わず一緒に口ずさんでしまいました。

お忙しい中、日ごろからお世話下さる役員の皆様へ感謝申し上げます。



バス研修旅行

八千代町地区福祉協力員 元村 ノリ子

6月14日 社協主催の津和野バス研修旅行に参加しました。8時黒崎市民センターを出発、花田会長の熱の入った津和野今昔歴史談に始まり、磯邊副会長のプロ顔負けの落語に聞き入り、徳永副会長の算数の難問に必死に取り組んで修学旅行気分に戻っていました。

山陰の小京都と言われ、地方の政治経済の中心として栄えた殿町の史跡を現地の方の案内で散策、ユーモアたっぷり説明と屋敷の白壁沿いの掘割には大小色とりどりの鯉が群れ、泳ぐ姿に癒されました。

1773年七代藩主亀井矩貞が城の鎮護と住民の安穩を願って建てられた太鼓谷稲成神社に参拝、約千本の朱色の鳥居のトンネルに見とれてしまいました。津和野は、平成27年4月21日「日本遺産審査委員会」の審議を経て第一号の日本遺産に認定され、文化、歴史的特色等魅力のある地域で、貴重な研修に参加させていただき、歩く、おしゃべり、笑い頭に知識と手にお土産、心に役員さん方へ感謝し、帰路につきました。



ペンション会と私

ペンション会会長 篠 克己

歩こう会の延長のつもりで引き受けて6年が過ぎました。ウォーキングの体力づくりも大切ですがボケ防止にとバス・JRを利用してよく出かけました。またバスハイクをしたいと常々思っていました。忙しい人達を相手ではフタをあけたら当日半歩でしたでは計画できません。

3年前、駅に弁当を予定していたら大雨。どうしたものかと思っていたら、ドシャブリの中「弁当余ったら買いますよ」とゾロゾロ参加。よし濡れついでにと、直方のチューリップ祭りを決行しました。この方たちには依拠し、今では人数も確保でき、バスハイクを楽しんでいます。

元歩こう会会長 田口 和重
この夏83歳と相成りました。今は老いというハンデイが増え、好い加減なところで誤るのです。そして謝るのです。そんな日常を過ごしています。句毎にバスハイクを企画・実施して頂けるのは有難く感謝しています。日ごろ

会えない同輩と旧交を懐かしみ触れ合える場を楽しみにしています。



初挑戦！石鹸づくり

あいの会 大石 真純

「調理用使い済み油に苛性ソーダを混ぜて出来上がり。(簡単ですよ)」環境部の篠さんが紹介されるのを以前から何度も伺っていました。

「機会があれば教えていただきたい」と思いながら、実現しませんでした。参加者は、あいの会スタッフ3名と、お隣の中山さん、元保健師山崎さん。苛性ソーダにそーつと水を加えて混ぜ、油を加えて30分間混ぜる。油が琥珀色から少しづつ明るいキャラメル色になる過程も面白く、交代で混ぜて出来上がりました。2週間後、白く固まった石鹸を釣り糸で切り分ける方法を教えていただき、キレイに完成しました。環境部の皆さん、本当にありがとうございました。



ご寄付ありがとうございました

『香典返し』の寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

香典返しご寄付者名及び住所
金子 庫之輔 藤田二丁目
故人のご冥福を心からお祈り致します。

街の川情報

「黒崎子ども食堂とは」

熊手通り「ことはな」奥に、今年五月オープンしました。

運営は、NPO法人「生活弱者サポートセンター」です。種々な事情で、子どもだけの食事をする家庭が増えています。子どもが安心して過ごせる居場所として、誰しもが利用できる食堂です。食後は本を読んだり、宿題をしたり、各々の時間を楽しんでいます。

近隣のいろいろな善意の協力や見守りにより活動しています。今後ともご協力をよろしく願います。

- ① チラシ申込書は黒崎市民センターにあり
- ② ボランティアの募集をしています

時間帯 PM 3～9時の中で
内容 食堂・イベントの手伝いです
この件に関する連絡先は
宮川 幸夫 090-3730-5066

募集中です

黒崎地区社会福祉協議会では賛助会員を募集しています。一口千円のご寄付で黒崎地区住民が助け合う共助の活動に役立ちますので皆さまの温かいご支援とご協力をお願いいたします。

連絡先 黒崎市民センター事務局
電話 六四一—四一〇六